

～ゼロから始める捕獲と被害防除の活動～

【亀山市関南部地区まちづくり協議会】

●集落（地区）の概要

- ・所在地：亀山市関南部地区（旧関町：名阪国道沿い）
- ・戸数：306戸
- ・農地の状況：約20ha小規模農地中心
- ・主な加害鳥獣：シカ、イノシシ、サル

●活動のようす



効率的なくり罠の活用の検討



狩猟チームのたゆまぬ活動



高所作業車を用いた環境整備



くり罠で捕獲した大型の雄シカ



鳥獣供養と狩猟捕獲安全祈願



ジビエ料理の研究と振る舞い

●取組内容

- ・関南部地区の久我自治会有志5名で捕獲チームを編成、2名が狩猟免許を取得し、シカ、イノシシの捕獲を開始した。その結果、たゆまぬ熱意と努力で3年10ヶ月の間に260頭を捕獲した。くり罠による捕獲がほとんどで、事故が無いように注意を払って捕獲態勢をとっている。
- ・捕獲している久我地区では、農作物の被害がほぼなくなった。また、日常生活における野生動物の出没による不安が軽減された。
- ・動物の隠れ家、棲家を無くすため、耕作放棄地の草刈りや、市道・林道沿いの雑木伐採で里山の保全管理、環境改善が進んだ。
- ・関南部地区内では、文化部員によるジビエ料理の研究やまちおこしイベント等でカレー、シチュー、唐揚げ等に調理して参加者に振舞っている。